

## 第 5 期みやぎ観光戦略プランにおける仙南圏域の施策の方向性及び取組について

仙南圏域（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）

## 仙南圏域について

- 仙南圏域は、県南部に位置し、西部は山形県境に、南部は福島県境に、北部と東部は仙台都市圏に隣接している。西部の蔵王連峰からなだらかな丘陵地帯が広がり、東部及び南部は阿武隈山地に囲まれている。白石川や阿武隈川流域には盆地が形成され、変化に富んだ地形である。
- 人口は、令和 2 年国勢調査では、平成 27 年と比較すると、仙南圏域で 10,663 人減（減少率 6.02%）、管内多くの市町で県平均を上回る人口減少率となっており、人口減少、高齢化が顕著である。
- 産業は蔵王連峰や阿武隈川流域の自然や温泉などを活かした観光関連の商業・サービス業が盛んである。農林畜産業では稲・大豆・麦を生産する水田農業のほか、野菜・果樹等の園芸作物、酪農・養豚等の畜産、たけのこ・きのこ等の特用林産物など、多様な生産活動が営まれている。首都圏にも近いことから、東北自動車道等のインターチェンジ周辺には製造業を中心とした企業集積が進んでいる。

## 圏域の観光の現状

- アクセス性と観光資源に比較的恵まれているものの、知名度が低く、観光客数は伸び悩んでいる。東西南北四方の約 60 km に及ぶ広い圏域に、自然・景観、レクリエーション施設、温泉・宿泊施設、歴史施設等、多様な観光資源が点在しているが、観光地間の連携不足などにより、一体感が弱い観光圏となっている。
- 団体観光客の減少など観光需要の変化に対応しきれていないこと等の理由により、宿泊者数は大幅に減少。外国人宿泊者数も震災の影響により、平成 23 年には前年から 88% 減少、その後緩やかに増加したが、震災前の水準までは回復せず、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国外、県外からの来訪者は大幅に減少。また、宿泊客は県内客が過半数を占め、周遊観光をしない割合が高い傾向がある。
- 観光情報については、市町単位の発信が多く、広域で一体的にわかりやすい情報を十分観光客に提供出来ていない。また、県外や国外からの観光客を受け入れるために必要な地域内の交通ネットワークが十分ではない状況。
- 圏域における広域観光については、平成 19 年に「みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議」を設立し、行政と食産業、宿泊業等の観光関係事業者が連携し、仙南地域の食と観光のブランド化に向け、美しい景観や地場製品の PR や、「みやぎ蔵王温泉郷 Facebook」の運営等、一体的な情報発信や誘客促進の取組を行っているが、こうした取組の効果はまだ十分とは言えない状況であり、誘客促進に向けて連携を一層強化していく必要がある。

## 圏域の観光の課題

- 「みやぎ蔵王」のブランド化について、仙南地域全体で観光地イメージを共有するとともに、地域の多様な観光資源を磨き上げ、それぞれの魅力を十分に引き出し、ブランド力を高めて誘客に結びつけることが必要。また、観光客に分かりやすい、仙南地域一体となった新たな情報発信の体制づくりが必要。
- 宿泊客の増加を図るため、顧客ニーズに対応した宿泊施設の魅力向上、朝・夜の観光メニューや終日楽しめる体験型メニューなど滞在性の高い観光メニューの提供が必要。
- 仙南地域の周遊を活発化させる観光ルートの形成とより広域な観光ルートとの連携を図るため、仙台市、名亙地域、環蔵王地域、阿武隈川流域等の周辺観光圏、さらには隣接県など東北地方全体との連携や、観光客の嗜好に対応したテーマ性やストーリー性のある観光ルートの形成が必要。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を踏まえた新たな観光需要への対応や、客層の変化に対応した仙南地域の周遊を促す情報や交通のネットワーク化を推進するため、今後は、仙南地域の魅力・特性を活かした多彩な観光メニューの創造とプロモーション活動の強化を進めながら、ICTを活用した一体的な情報提供や観光サインの整備、観光客が利用しやすい交通網の整備など、観光客の受入環境をさらに整備していくことが必要。
- 仙南地域が一つの観光地として活性化していくためには、観光従事者や住民が地域全体の特性や魅力を学ぶ機会が必要であり、仙南地域の戦略的観光地運営と持続的観光振興をリードする人材育成が必要。

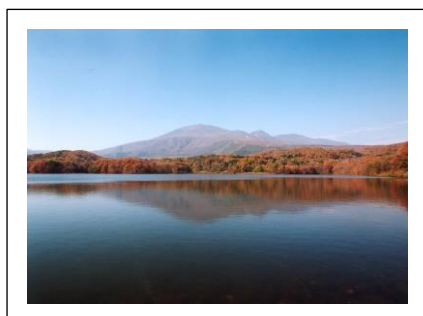
### 圏域の施策の方向性及び取組

#### ＜計画期間で対応が必要な取組＞※R4～R6

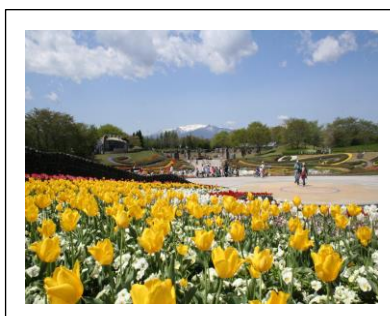
- 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組
  - ・安全安心対策の情報発信及び安全安心対策や新たなビジネスモデル転換への支援
  - ・バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備
  - ・地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）
- 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進
  - ・みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案
  - ・地域の食と観光のブランド化による誘客促進
  - ・WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信
  - ・周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション
- 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実
  - ・多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成
  - ・隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成
- 仙南地域の観光を支える人材育成
  - ・観光地域リーダー育成研修、観光地域づくりの意識啓発
- インバウンド受け入れ体制の強化
  - ・多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信
  - ・観光施設等における多言語案内表示等の整備
  - ・宿泊施設や観光施設における無線LAN環境の整備

#### ＜中長期的に対応が必要な取組＞※～R12 年度まで

- 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進
  - ・国外・県外からの誘客に向けたプロモーション
- 周遊促進に向けた情報・交通のネットワーク化
  - ・仙南地域の総合観光情報発信サイトの運営
  - ・MaaSと関連付けた交通ネットワークの充実や分かりやすい観光サインの整備
- 仙南地域の観光を支える人材育成
  - ・教育現場における子ども達の地元愛醸成
  - ・地域住民による地域資源発掘や理解醸成、観光による持続可能な地域づくりへの啓発



川原子ダム（白石市）



みちのく杜の湖畔公園（川崎町）



高蔵寺阿弥陀堂（角田市）